

よくわかる民事信託

—基礎知識と実務のポイント

編集：（一社）民事信託士協会、（一社）民事信託推進センター

執筆：浅井健司、海野千宏、金森健一、澤邊 宏、鈴木 望、高橋宏治、若山寿裕

A 5 判・並製 264 頁 定価：本体 2,500 円＋税

- ◆相続・事業承継の相談を受ける金融機関職員・FP等が、コンサルティングのために知っておくべき民事信託の活用例、法務、税務、口座開設・登記等の実務知識と留意点をQ&Aで解説。
- ◆信託の特性を活かして本人のみならず家族生活の安定、資産承継の願いを実現できるスキームを紹介。
- ◆一般社団法人民事信託士協会の認定を受けた「民事信託士及び講師陣」が豊富な実務経験を踏まえて執筆。



〔編集〕

一般社団法人民事信託士協会：民事信託制度の幅広い活用と適正かつ円滑な運用のための人材確保と、これを担う民事信託士の育成及び指導等による資質の向上に資する団体として、平成 26 年 4 月設立。

一般社団法人民事信託推進センター：健全な民事信託の制度が幅広く活用されることを目的に平成 23 年 9 月設立。

〔執筆〕

浅井健司（司法書士、行政書士、社会保険労務士、民事信託士）：6 章・12 章・15 章担当

海野千宏（弁護士、民事信託士、中央大学法学部客員講師）：2 章・3 章・4 章・5 章担当

金森健一（弁護士、ほがらか信託株式会社副社長執行役員、駿河台大学特任准教授）：8 章・10 章担当

澤邊 宏（司法書士、民事信託士、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート会員）：1 章担当

鈴木 望（ビゼックス合同事務所 代表（司法書士、行政書士）、民事信託士）：7 章・11 章・14 章担当

高橋宏治（司法書士、行政書士、民事信託士）：9 章担当

若山寿裕（一般社団法人民事信託推進センター会員、税理士）：13 章担当

1章 信託の古今東西

- ・信託の起源は何ですか
- ・現在アメリカで活用される信託はどのようなものですか
- ・日本の現代の新しい信託の特徴はどのようなものですか
- ・アジア(大陸法)では信託法が制定されていますか 他

2章 民事信託スキームの基本

- ・信託の設定方法にはどんなものがありますか
- ・信託の当事者には、どのような権利義務がありますか
- ・民事信託ならではの定め①遺言代用信託、その活用法は
- ・民事信託ならではの定め②受益者連続信託、その活用法は 他

3章 民事信託の機能

- ・信託の機能とは？ 信託でしか実現できないメリットはありますか
- ・遺言、後見、任意代理等、他の仕組みとの違いは何ですか 他

4章 受託者の権限と義務

- ・受託者の権限にはどのようなものがありますか
- ・受託者の義務はどのような、どの程度のものでしょうか
- ・家族以外の法人は、受託者になれますか 他

5章 受益者の権限等

- ・受益者の権利には、どのようなものがありますか
- ・受益者の負担には、どのようなものがありますか

6章 委託者の権限と地位

- ・信託契約の設計において、委託者の権限について注意すべきことはありますか
- ・委託者の地位は承継(移転)されるのですか 他

7章 信託関係人の役割等と活用

- ・信託監督人とは、どんな役割、権能、義務があり、どんな場面で活用しますか
- ・受益者代理人とは、どんな役割、権能、義務があり、どんな場面で活用しますか
- ・信託当事者のいずれかの者に法定後見人が就いた場合、信託関係人と後見人はどのような関係になりますか 他

8章 信託条項に定めるとよい事項

- ・信託契約書は公正証書にしなければなりませんか
- ・金融機関と取引をすることを考えると、どのような条項を信託契約書に定めるとよいですか
- ・金融機関への悪影響、悪評判を招くおそれのある民事信託の契約条項のチェックポイントは何ですか 他

9章 口座開設、融資取引とその留意点

- ・金融機関は、顧客から民事信託についての問い合わせが来た時にどう対応すればよいですか
- ・受託者専用口座を開設するとき、どのような手続きが必要ですか 他

10章 スキームの合理性とそのチェックポイント

- ・民事信託のスキームを組み立てる際にどのような手順で行いますか
- ・金融機関が、個人や中小企業オーナーに関わる民事信託の信託口座の開設や融資を取り扱う意義は何ですか 他

11章 設定から終了まで/必要な受託者実務

- ・信託の設定から終了までに必要または起こりうる諸変更手続はどのようなものですか？
- ・自社株式(譲渡制限付)を信託財産にする場合のポイントは何ですか？
- ・不動産を信託財産にする場合に、受託者が行う設定、管理、終了までの信託事務のポイントは何か 他

12章 民事信託と他のスキームの活用

- ・商事信託はどのようなもので、民事信託とはどう違うのですか
- ・民事信託の死因贈与・負担付遺贈との選択ポイントは何ですか
- ・民事信託に生命保険は活用できますか？ また生命保険信託とは何か 他

13章 課税・手続きの概要と留意点

- ・受益者等課税信託の設定から終了までの課税関係の概要はどのようなになっていますか？ 自社株信託ではどうですか
- ・受益者等課税信託では、受託者の税制上の必須の実務にはどのようなものがあるのでしょうか 他

14章 信託登記の概要と留意点

- ・信託登記されたか否かはどこを見ればわかりますか
- ・不動産を信託する、または事後的に追加信託するための登記手続きはどうするのですか
- ・民事信託が終了した場合、不動産を引き渡すにはどのような登記申請が必要ですか
- ・信託当事者のいずれかの者に法定後見人が就いた場合、信託関係人と後見人はどのような関係になりますか 他

15章 ニーズごとの基本スキームと条項等のポイント

- ・老後の自宅資産の活用を支援する民事信託にはどのような事例がありますか
- ・老後の収益資産の活用を支援する民事信託にはどのような事例がありますか
- ・障がい者の将来支援を目的とする民事信託にはどのような事例がありますか
- ・次世代への資産承継と将来の資産活用を支援する民事信託にはどのような事例がありますか
- ・多数の土地共有者の資産管理・運用を目的とした民事信託にはどのような事例がありますか
- ・高齢な会社経営者の株式承継対策としての民事信託にはどのような事例がありますか(株価が高い場合) 他

